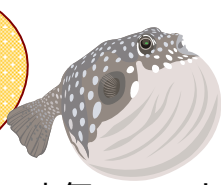


けんこう散歩道



海のなか?!をウォーキング♪(下関市)

人気のコーナー「けんこう散歩道」！今回は、ついに県外、そして、海のなか?!に進出です！

今回は、「海のなか?!をウォーキング」ということで、ウォーキングやジョギングスポットとしても人気の「関門トンネル人道」とその周辺の取材に向かいました。

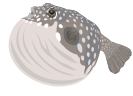
山口県と福岡県を歩いてきましたが、噂どおり、多くの方がトンネルを活用した健康づくりを楽しまれていました。

～ 知っ得情報 ～

駐車場：関門トンネル人道入口周辺

トイレ：有

(関門トンネル人道入口周辺)



下関側の見どころ

関門トンネル人道入口は、海沿いの国道9号線からすぐ見えるところにあり、駐車スペースもたっぷりあります。

ここからは、道路を挟んで「壇ノ浦古戦場」が見えます。



「壇ノ浦古戦場」は、寿永4年(1885)源氏と平家の最後の戦いになった壇ノ浦合戦の跡です。

古戦場を眼前に臨む「みもすそ川公園」内には、源義経・平知盛両雄の像とともに、NHK大河ドラマで義経役を演じたタッキーこと滝沢秀明さんの手形も設置されています。

ここは、関門トンネル人道のすぐ向かい側にあり、銅像も目立つため、初めて行かれる方は、「壇ノ浦古戦場」の場所を覚えていたら、トンネル入口を見落とされることのないでしょう。



関門トンネル人道

関門トンネル人道は、朝6時から夜10時まで通行できます。歩いて渡るのは無料で、自転車や原付バイクを利用される方は、20円通行料が必要になります。(エレベーターの搭乗口には、料金ボックスが設置されています。)

また、自転車やバイクは、トンネル内を押し歩かなければいけないので、ご利用の際は、お気を付けください。



早速、エレベーターで地下に移動します。

下関側(山口県)は地下約5.5m、門司側(福岡県)は地下約6.0mに降りるこのエレベーターですが、乗ってみると意外とあっという間に地下に到着しました。

地下に到着すると、入った時と逆側の扉が開くので、なんだか秘密基地に向かうような気持ちになります。(ワクワク)

扉が開きトンネル内に進むと、エレベーターホールに、観光案内マップやポスター等が、たくさん掲示されていました。

海のなかで「健康づくり」

エレベーターホールを抜け、トンネルを福岡県方面に向けて真っ直ぐ歩きました。最初ゆるやかな下り坂、県境を境にゆるやかな上り坂に変わります。トンネル内は、地下深くにいるということを感じさせないくらい、明るくて、歩きやすい通路でした。万が一に備えて、緊急のインターホン等の設備も整っていました。

歩いているあいだ、「ブーン」という機械音が聞こえてきましたが、この音は、「換気扇」の音だそうです。この「換気扇」のお陰で、地下深くに新鮮な空気が送られているのですね。

「トンネルに窓があって、海の中を泳ぐ魚を見ながら歩いたら、もっと楽しそうだな～」なんて思いながら歩きましたが、海底は、暗くて何も見えないかな・・・?!



歩いていると、ウォーキングやジョギングをされている方が増え、中には、トンネル内を何度も往復されている方もいらっしゃいました。

トンネルの両側(下関側・門司側)のエレベーターホールには、トンネルを渡った思い出づくりができる記念スタンプコーナーが設置されていました。ここで記念スタンプを押して、「JR下関駅・JR新下関駅・JR門司港駅にある観光案内所で提示し、アンケートに答えると、「関門TOPPA!記念証」がもらえるそうです。

門司側の見どころ

門司側に辿り着き、地上に出てみることにしました。少し海側に進むと、「観潮遊歩道」があります。

ここは、急潮流を間近に眺めることができる歩道が整備されていて、自然の迫力を感じながらウォーキングを楽しむことができます。海を眺めることができるベストポイントに休憩用のベンチも設置されていました。



関門海峡周辺は、魚釣りをされる方にも人気のスポットのようです。

この日も寒いなか、魚釣りを楽しまれている方を見かけました。

少し足を延ばせば観光スポットがたくさんあるので、家族や仲間を出かけても、魚釣りとおわせて観光を楽しむことができそうです。

海の道「関門航路」

しばらく門司を散策してから、トンネルを歩いて、再びスタート地点に戻りました。

下関側から門司側を眺めると、対岸を遠く感じるのですが、今回、関門トンネル人道を歩き、入口周辺を散策して、約1時間ぐらいで往復することができました。山口県から福岡県に渡るには、関門トンネルや高速道路、船、電車と色々な手段を選べますが、歩いて渡るのもなかなか良いものでした。

また、海を眺めていると、関門海峡をたくさんの貨物船が行き来していました。

ここは、海の道「関門航路」としての大きな役割を果たしているようです。



あとがき

まだまだ寒いこの時期に、実際に関門トンネル人道を歩いてみて、季節や天候に関係なく「健康づくり」ができるスポットとして人気がある理由が良くわかりました。

また、下関側、門司側には、一日では周りきれないくらいたくさんの観光スポットがあります。

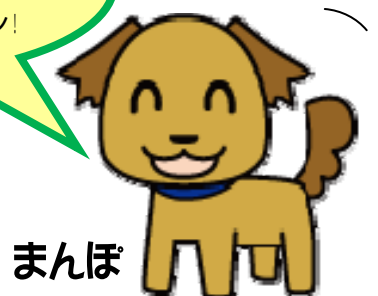
この日も観光客の姿を見かけましたが、観光を楽しみながらウォーキングするのも、健康づくりに繋がります。

当センターでは、こちらからも「健康づくりに人気のスポット」や「楽しみながら健康づくりができるスポット」を取材していきます！

皆さんの周りにある健康スポットがあれば教えてくださいネ

今回の歩数は、

4,268歩だワン!



まんぼ

(取材スタッフ歩数計の計測による)